

仕事が上手くいかないとき

一般社団法人アーネスト育成財団
理事長 西河洋一

私の作った社訓の3番目の項目に、「人のせいにするな 苦境は自己を正すことにより必ず道は開ける」とあります。2022年の年は社会人になり丁度40年の節目となりますが、22年前に作ったものです。経営者となる前に、多くの仕事の失敗を繰り返し、何故上手くいかないのだろうかと日々悩み、その大きな原因が、人のせいになっていることに気が付いたのです。建築現場の現場監督は、予算、工程、品質、納期を管理して会社の利益を向上させるのが仕事で、責任を持たされ自分が総責任者となり建築物を完成させます。

その一現場の経営者というような、とても遣り甲斐のある仕事で大きな責任を果たさなければなりません。始めは、先輩に付き現場で色々なことを学び、やがて小さな現場を任せられ、能力が高ければ現場の規模もどんどん大きくなってきます。大きな現場に成れば成る程、沢山の労働者、多くの資材、そして大きなお金が動きます。そうすると自分が偉くなったと錯覚して、現場で威張るようになります。この気持ちが、駄目なのです。

現場監督は、自分より年配の労働者も使います。年配の人から「生意気なこのペイペイが」と思われたり、「こんな監督の仕事は、いい加減にやっつけてしまおう」。そういう気持ちで仕事が進めば、決して良い建物はできません。その人の言動や態度、身なりで魂が伝わるのです。自分が一番でなく、相手を思う気持ちをもって接すれば、それも伝わり良い建物を一緒に作ろうとなっていくわけです。そして立派な建物が完成します。

目上の人に生意気にみられないためには「常に低姿勢で、威張らないこと」「常に勉強して、使う人達以上の知識を持つこと」「常に仕事に厳しく、なあなあ関係にならないこと」「賄賂は絶対断ること」「日々、何事にも感謝」「相手への気遣い」。お互いに心を通じ合い良い関係を築いていくことが大切です。

仕事が上手くいかない時に色々考えてみると、大概は自分に原因があることに気が付きません。そして、その原因を解決すると仕事がスムーズに進むようになります。日本人は、全ての物に神が宿り感謝する八百万の神という考えを持っています。

触れ合う人々、そして使わせていただく物に、日々感謝の心を持ち、自らを正して過ぎていくことが、物事を進めていくうえで重要であると思います。

「ありがたい、ありがたい」「感謝、感謝」